

## 平成19年度決算について

平成19年度の決算概要は以下のとおりです。この決算は、5月27日に行なわれた理事会・評議員会の承認を受けたものです。

### 資金収支計算書

#### 【収入の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,299	2,305	△ 6
手数料収入	40	37	3
寄付金収入	91	106	△ 15
補助金収入	559	556	3
資産運用収入	50	50	0
資産売却収入	0	10	△ 10
事業収入	82	63	19
雑収入	147	184	△ 37
前受金収入	460	394	66
その他の収入	130	678	△ 548
資金収入調整勘定	△ 499	△ 517	18
前年度繰越支払資金	1,874	1,874	0
収入の部合計	5,233	5,740	△ 507

資産売却収入は、固定資産等の売却による収入をいい、不動産、有価証券などの売却による収入が代表的なものとして上げられ

前受金収入は、翌年度以降の諸活動に対応する資金を受け入れた場合に生ずる科目で、一般的には翌年度入学生にかかる学生生徒納付金収入などが代表的なものです。

固定資産取得のための引当特定預金から取り崩した繰入収入の他、貸付金回収収入、預り金受入収入等、帰属収入の性質をもたない収

資金収入調整勘定は、期末における未収入金の計上、また前年度で前受金とした当該年度に属する学費収入等を学生生徒納付金収入として計上するための減算科目です。

施設関係支出とは、土地、建物、構築物といった固定資産取得のための支出です。

設備関係支出とは、教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書、車両といった固定資産取得のための支出です。

前年度中の活動に係る支出のうち、当該年度に支払われた前期末未払金支払支出の他、奨学貸与金支払支出、預り金支払支出などがあ

資金支出調整勘定とは、当該年度中に支払うべき支出であるが、支払いが次年度になる期末未払金や、前年度に支払いを済ませた当該年度の支出を減算することにより支出額を調整

#### 【支出の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,045	2,040	5
教育研究経費支出	541	544	△ 3
管理経費支出	267	289	△ 22
借入金利息支出	0	0	0
借入金返済支出	5	5	0
施設関係支出	250	169	81
設備関係支出	131	102	29
資産運用支出	505	1,107	△ 602
その他の支出	134	150	△ 16
[予備費]	9	0	9
資金支出調整勘定	△ 91	△ 83	△ 8
次年度繰越支払資金	1,437	1,417	20
支出の部合計	5,233	5,740	△ 507

#### 《資金収支の概要》

主な収入の学生生徒納付金収入は予算に対して6百万円、寄付金収入は1千5百万円の増収、補助金収入は3百万円の減収となっています。有価証券の満期償還、引当預金からの繰入収入等により、収入合計は予算比507百万円増の5,740百万円となりました。一方、支出のうち人件費支出については予定外退職金による増加があるにもかかわらず、教職員人件費の減額により予算比5百万円の減少。管理経費は雑費として一過性の予定外支出が含まれております。

施設・設備関係支出の予算比減額は、主に高校の寮兼食堂の竣工時期の遅延によるものです。

特定預金の増額による資産運用支出の増加、有価証券の満期償還による支払い資金の増加等により、支出合計は収入合計

## 消費収支計算書

### 【収入の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,299	2,305	△ 6
手数料	40	37	3
寄付金	90	111	△ 21
補助金	559	556	3
資産運用収入	41	47	△ 6
事業収入	82	63	19
雑収入	147	185	△ 38
帰属収入合計	3,258	3,304	△ 46
基本金組入額合計	△ 178	△ 80	△ 98
消費収入の部合計	3,080	3,224	△ 144

学生生徒納付金とは、授業料、入学金、教育運営費、実験実習費等の学費収入です。

手数料は、入学検定料、試験料、証明手数料とセンター試験の実施手数料が主なものです。

寄付金には、資金収入の寄付金だけでなく、現物寄付金が含まれます。

補助金は、国庫補助金、地方公共団体補助金が中心です。

帰属収入とは、学生生徒納付金、手数料、寄付金、補助金などの負債とならない法人に帰属する収入

基本金組入額とは、学校が教育研究活動を行なうためには、校地、校舎、機器備品、図書などの資産を持ち、維持する必要があるため、学校会計では、これらの教育研究活動に必要な資産を取得するために、帰属収入から充てた金額をもって、維持すべき資産等の金額とし、これが基本金組入額と呼ばれて

人件費は、教員人件費、職員人件費、退職給与引当金繰入額などです。

教育研究経費は、教育研究活動に必要な消耗品、旅費交通費、光熱水費などのすべての経費です。

管理経費は、教育研究の諸活動に間接的に必要な消耗品等の経費です。

### 【支出の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,984	1,973	11
教育研究経費	905	904	1
管理経費	332	354	△ 22
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	1	1	0
徴収不能引当金繰入額	5	5	0
徴収不能額	4	0	4
[予備費]	9	0	9
消費支出の部合計	3,240	3,237	3
当年度消費支出超過額	△ 160	△ 13	
前年度繰越消費支出超過額	1,402	1,402	
翌年度繰越消費支出超過額	1,562	1,415	

### 《消費収支の概要》

収入について、手数料、補助金、事業収入が予算に対して25百万円の減額となっておりますが、学生生徒等納付金、寄付金、資産運用収入、退職金財団からの交付金収入等の増加により、帰属収入合計では予算比46百万円増の3,304百万円となっております。

高校の寮兼食堂に係る基本金組入額を次年度へ繰り延べしたため消費収入合計は、予算比144百万円増の3,224百万円となりました。支出については管理経費の増加がみられるものの、一過性の経費支出によるものが主要因なので、人件費、教研経費とも予算減額となっており経費節減の効果が表れているといえます。その結果、消費支出合計は予算比3百万円の減額の3,237百万円で当年度の消費支出超過額は13百万円となりました。

## 貸借対照表

### 資産の部

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成18年度末	増 減
固定資産	21,343	20,931	412
有形固定資産	17,599	17,748	△ 149
土地	5,724	5,724	0
建物	10,402	10,620	△ 218
構築物	288	347	△ 59
教育研究用機器備品	363	418	△ 55
その他の機器備品	11	13	△ 2
図書	645	626	19
車両	0	0	0
建設仮勘定	166	0	166
その他の固定資産	3,744	3,183	561
流動資産	1,598	2,002	△ 404
資産の部合計	22,941	22,933	8

### 負債の部

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成18年度末	増 減
固定負債	737	808	△ 71
流動負債	507	495	12
負債の部合計	1,244	1,303	△ 59

### 基本金の部

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成18年度末	増 減
第1号基本金	22,720	22,437	283
第2号基本金	0	203	△ 203
第3号基本金	167	167	0
第4号基本金	225	225	0
基本金の部合計	23,112	23,032	80

### 消費収支差額の部

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成18年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	△ 1,415	△ 1,402	△ 13
消費収支差額の部合計	△ 1,415	△ 1,402	△ 13

### 負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計

(単位：百万円)

科 目	平成19年度末	平成18年度末	増 減
負債の部、基本金の部 消費収支差額の部合計	22,941	22,933	8

### 《貸借対照表の概要》

(資産について)

有形固定資産の減少は建物等の減価償却によるもの、その他固定資産の増加は、有価証券等の購入によるものです。  
1号基本金への振替のため、2号基本金引当特定資産を取り崩しています。流動資産の減少は現金預金を有価証券購入、特定預金繰入れ等に充当したことによるものです。

(負債について)

固定負債の減少は主に退職給与引当金によるもの、流動負債の増加は前受金によるものです。

(基本金について)

増加の主因は、高等学校の寮兼食堂建築及び子ども教育学部設置に係る機器備品・図書によるものです。

(消費収支差額について)

前年度までの支出超過額に今年度の支出超過額13百万円が加わりました。